

# メディカルバレー構想の取組について

三重県健康福祉部薬務食品室

## 1 現状

医療・健康・福祉分野の産業の育成と県民の健康と福祉の向上をめざして、平成14年4月からメディカルバレー構想の推進（メディカルバレープロジェクト）に取り組んでいます。

### (1) 事業概要

#### ① 産学官民連携体制の構築

医療・健康・福祉産業の創出と集積を目的に、県内の大学・高専、企業、市町等とのネットワークを構築するとともに、研究開発が可能な体制を整備しています。

#### ② 研究開発の支援

産学官民それぞれが自立的な取組を展開できるように、健康・福祉関連製品の販路開拓の支援、共同研究の支援、治験受入体制の支援などを実施しています。

#### ③ 拠点整備の支援

研究開発を促進するため、研究拠点の整備支援や市町など地域で取り組む事業を支援しています。

### (2) 事業成果

① 医薬品製剤製品出荷額 134,533 百万円（平成21年）は全国14位、平成14～21年の8年間の伸び率2.3倍は全国トップです。

② 医薬関係の企業立地や異業種からの医薬分野への進出は、平成14～22年度の9年間の累計で60件です。

③ 企業・大学・行政機関の共同研究による製品化・特許出願は、平成14～22年度の9年間の累計で85件です。

④ 新薬開発に欠かせない治験を受け入れる体制の構築を全国に先駆けて実施、県内125の病院、診療所が参画する「みえ治験医療ネットワーク」を平成15年に構築しました。全国トップクラスの治験ネットワークとして評価されています。平成15～22年度の8年間の治験案件受入数の累計は、163件です。

⑤ 研究開発の拠点として、鈴鹿医療科学大学薬学部が平成20年4月、三重大学伊賀研究拠点が平成21年4月に開設されました。

## 2 今後の予定

本分野の産業振興の基盤は構築されましたが、これらの基盤を維持・拡充するとともに、今後は県民の健康と福祉の向上に繋がる製品やサービス等が継続的に創出されるしくみを構築していく必要があります。

国の新成長戦略においては、「健康大国戦略」として、ライフ・イノベーションを推進することとしており、医療・介護・健康関連産業を成長牽引産業と位置づけています。

このため、メディカルバレープロジェクトで培われた産学官民ネットワークを基盤に、次のような製品やサービス等を開発・評価するシステムを構築し、新製品・新サービスが次々に生み出されていくようにします。

- ① 医療機器・福祉機器 等
- ② 医薬品・保健医療食品 等
- ③ 健康増進プログラム 等
- ④ その他

医療機器や福祉機器等の開発にあたっては、国等の競争的資金の導入等も含めて支援をしていきます。
--

# みえライフイノベーション推進事業

三重県健康福祉部薬務食品室

## 事業概要

医療現場、福祉・介護現場で必要とする医療機器・サービス、福祉機器・サービス等の開発のしくみを構築し、製品開発を促進することにより、医療・福祉産業の活性化を図ります。また、医療・福祉環境の改善を図るとともに、県民に提供する医療技術の高度化、高齢者・障がい者の生活の質の向上をめざします。

## 事業効果

- ・医療・健康・福祉分野の企業活動が容易な環境の構築
- ・異業種(自動車関連産業など)からの本分野への進出・転換促進
- ・医療・健康・福祉分野の企業立地の促進
- ・ネットワークの活用による製品・サービス開発の活性化

